

平成30年11月29日

三木市議会
議長 内藤 博史 様

議会運営委員会
委員長 穂積 豊彦

行政視察報告書

下記のとおり委員会行政視察を実施いたしましたので、会議規則第107条の規定により報告します。

記

1. 参加者

穂積 豊彦（委員長）、 泉 雄太（副委員長）、 板東 聖悟、
藤本 幸作、初田 稔、 松原 久美子 計6名

2. 視察内容等

日 時		場 所	内容及び対応者
10月23日	13:30 ～ 15:00	千葉県 富津市	議会報告会・意見交換会 (対応者) 富津市議会 議長 平野 明彦 " 議員 石井 志郎 " 議員 猪瀬 浩 富津市議会事務局 事務局長 大塚 幸男 " 主幹 牧野 常夫
	10:00 ～ 11:30	千葉県 佐倉市	議会改革の取組・意見交換会 (対応者) 佐倉市議会 議長 櫻井 道明 " 副議長 森野 正 佐倉市議会事務局 局長 橋口 庄二 " 次長 鈴木 則彦 " 書記 村上 一郎 健康企画課 係長 松浦 大樹 議会事務局 庶務担当係長 中司 里香

3. 所感

(1) 議会報告会・意見交換会（富津市）

前・後半の2部に分け、前半に議会報告会、後半に意見交換会を実施している。

議会報告会では、各常任委員会がテーマを選定して発表し、質疑応答の機会は設けていない。

意見交換会では参加者を数名ごとのグループに分け、KJ法によるブレインストーミング形式で意見を出してもらい、それを議員が集約する。

これらの工夫により、市民から建設的な意見が出され、参加した市民の満足度が向上している点で、非常に優れた手法であると感じた。

また、富津市の議長をはじめ、議会報告会の改革に実際に携わった3名の議員から直接話を聞くことができ、大変参考になった。

(2) 議会改革の取組・意見交換会（佐倉市）

試行錯誤の末、現在は意見交換会のみ開催している。

意見交換会では、特定のテーマを定め、参加対象者もテーマに関係する各団体の代表者に絞って開催している。

このことにより、テーマに合った意見が集約され、行政の施策への課題の抽出に役立てることができている点が、非常に参考になった。

(3) 両市を通して

両市の取組を参考に、三木市においては、会の名称を「議会報告会」とするか「意見交換会」とするかを検討するとともに、市民からの市政への意見を十分に集約する工夫が必要であると考えます。